



みきしんや
三木伸也

災害に対する備えを！
TKB等の充実で災害関連死を防ぐ

動画で一般質問を
ご覧いただけます



避難行動要支援者への対応は

答弁 個別避難計画の作成を進めていく

問 災害時、避難所のライフライン確保、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）、ペットについては。

答 各指定避難所に発電機、飲料水を備蓄、一部にLPガス設備あり。オストメイトトイレ6か所、簡易トイレ1,344個備蓄（今年度追加予定）。市給食センターが各避難所で炊き出し。段ボールベッド12台配備（追加予定）赤ちゃん用はなし。小動物含め動物の居室への持ち込みは原則禁止。

問 避難所施設の収容人数、装備品、機能などを公表し円滑な避難につなげることについては。

答 市地域防災計画と各施設ホームページにて公示しているが、方法も含め今後検討したい。

問 在宅避難者や車中泊避難者への支援物資の配布と、車中泊用の車両を駐車できる場所は。

答 原則、物資拠点での配給。車両は公民館や学校など市が開設した避難所への駐車を想定。

問 河川氾濫の対策と、被害が最も大きくなった場合のインフラの被害予測は。

答 日高総合公園付近と巾着田付近に各1台の河川監視カメラ、高麗川5か所、小畔川2か所に水位計、宮沢ため池に監視カメラが2台。被害予測は地震直後に停電が1,056世帯、都市ガスは900件程度の供給停止、上水道377世帯断水、下水道8,248人に機能支障が出ると予測。



あらい
新井 均

26年間未着手が続く
下水道認可地域への対応

動画で一般質問を
ご覧いただけます



下水道認可地域への対応は

答弁 地域の事情を勘案し効果的施策を検討する

問 下鹿山から女影にかけて長年整備されない公共下水道認可地域がある。いつ整備するのか。

答 当該地域は住居系地域から集落地域へと分類が変わった。費用対効果や人口動向等から工事の着手の有無を判断しなければならなくなつた。

問 仮に下水道認可区域の見直しとなれば、現在支給対象外の浄化槽転換補助金が支給される。

この際、見直し期間中の補助金支給の要望が住民から出てくると予想されるが、どう対応するのか。

答 認可区域見直しには長期間を要する。住民の要望に応じる効果的施策を検討する。

ダム機能を果たす田んぼへの支援は

問 鹿山、中鹿山、下鹿山などの田んぼが豪雨時に果たすダム機能について、市はどう考えるか。

答 水田に水が溜まり下流域での雨水氾濫予防の一助となっているものと考える。

問 ダム機能を持つ田んぼの水路整備等の支援について市の考えは。

答 国や県の動向

を注視すると
共に、先進自治体の事例を参考にして、実効性や効果を研究する。



大雨で浸水した田んぼ

一般質問の原稿は議員の責任において掲載しています。